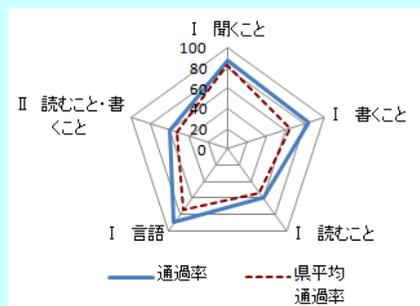


# 指導方法等の改善計画について〔国語科〕

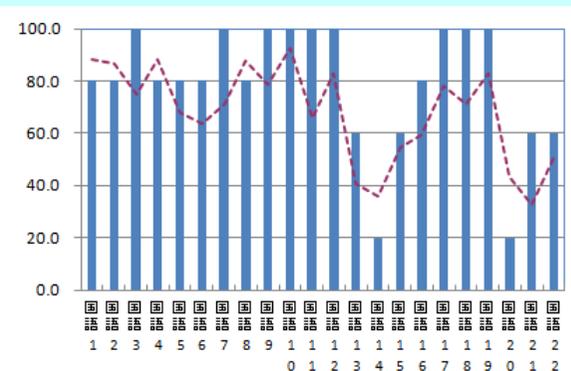
神石高原町立豊松 小学校

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 79.1%, 県 68.0%)

領域別平均通過率



教科別の平均通過率



本年度の結果について

○国語の結果において、タイプⅠは83.3%、タイプⅡは60.0%の通過率となっている。この結果から、基礎的・基本的な内容については、定着が図られているが、書く能力・読む能力の領域において叙述を基に想像したことを記述したり、多くの情報の中から必要な物を取り出したりする内容に課題が見られた。通過率が高かったのは、聞く能力の領域で86.7%の通過率であった。  
○昨年度も同じような問題に課題が見られた。資料から必要な情報を取り出す問題である。昨年度の通過率は40%で、今年度は20%である。このタイプの問題は、一昨年も課題が見られた問題である。資料から必要な情報を取り出し、それを論理的に文章化する力がついておらず改善が不十分であった。

## 重点課題

### 【課題1】

物語文を読んでどのような出来事があったのか読み取ったり、条件に合わせてわかりやすく記述したりする力が不十分のため、場面の移り変わりに注意しながら叙述を基にして登場人物の気持ちを捉え、その変化の理由を説明することに課題がある。(通過率20%)

### 【課題2】

複数の情報の中から必要な情報を見つけたり、それを使って目的に合わせて記述したりする力が不十分のため、目的や必要に応じての情報を取り出しに課題がある。(通過率20%)

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

### 【課題1】

物語文の学習では、叙述の中で重要だと思われることには線を引くという学習をし、叙述に沿って読み取ったり、登場人物の気持ちを想像したりする学習を積み重ねる。場面の移り変わりをまとめたり心に残ったことを感想文に書いたりするなど自分の考えを記述する学習を行い、条件に合わせて記述する力をつける。

### 【課題2】

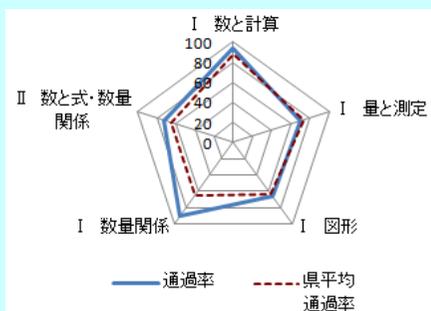
説明文の学習においても、重要な言葉に線を引きながら叙述に沿って読み取ったり、読み取ったことを基に話し合ったりする学習を行い、文の中の説明の工夫を見つけたり、段落同士の関係をとらえ説明の仕方について考えたりする力をつける。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3学年「ちいちゃんのかげおくり」単元末テスト		4学年「プラタナスの木」単元末テスト 全学年学期末テスト	全学年標準学力調査	4学年 H29「基礎・基本」	全学年 学年末テスト
目標値		平均通過率 75%以上		平均通過率 75%以上	全国平均以上	平均通過率 75%以上	平均通過率 75%以上
実施後数値		75%		89.6%			

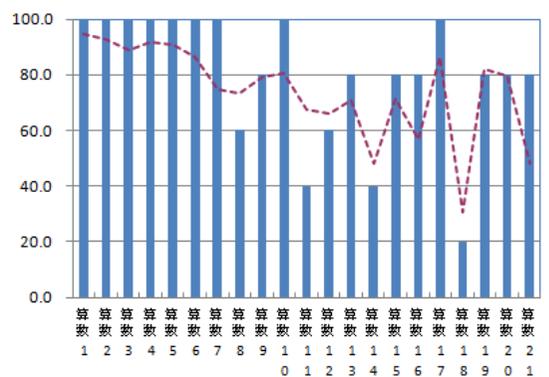
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			3学年「すがたをかえる大豆」4学年「アップとルーズで伝える」単元末テスト	全学年 学期末テスト	全学年 標準学力調査	4学年 H29「基礎・基本」	全学年 学年末テスト
目標値			平均通過率 75%以上	平均通過率 75%以上	全国平均以上	平均通過率 75%以上	平均通過率 75%以上
実施後数値			75%	86.2%			

## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 80.0%, 県 74.3%)

領域別平均通過率



設問1の平均通過率



## 本年度の結果について

○算数の結果において、タイプⅠは82.5%、タイプⅡは72.0%の通過率となっている。この結果から、基礎的・基本的な内容については定着が図られているといえる。しかし、複数のグラフを関連づけて読み取る問題において課題が見られる。また、図形の領域において性質の理解が不十分であり、課題が見られる。

○昨年度も同じ領域の問題に課題が見られた。折れ線グラフの関連づけの問題で、通過率が60%だったが20%に下がった。図形の問題で、定義や性質について指導し、その特徴をとらえながら説明する活動を行ったが通過率は40%であった。昨年度課題の見られた問題を系統的に拾い出し全学年で取り組み、各学年の単元末テストで見取ったが、本年度通過率は上がらなかった。

### 重点課題

#### 【課題1】

1目盛の数が違う2つのグラフからそれぞれの変化を読み取って比べる力が不十分である。グラフから読み取ったことを根拠に、示された事柄が正しくない理由を言葉や数を用いて説明することに課題がある。(通過率20%)

#### 【課題2】

図形の特徴と作図の方法をつなげて考える力が不十分である。作図に用いられている図形の約束や性質を理解して問題を解くことに課題がある。(通過率40%)

### 重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

#### 【課題1】

3年生「表とグラフ」、4年生「折れ線グラフ」では、1目盛の数が様々なグラフを示したり作ったりすることで、数値を正確に読み取らせる。また、グラフの増え方や減り方など、具体的な数値を示しながら変化を読み取らせていく。また、複数のグラフを関連付けてみる力をつける学習も取り入れる。

#### 【課題2】

図形の特徴の学習では、操作活動などを多く取り入れ、実感を伴って特徴を理解できるようにする。作図の方法のみを理解させるのではなく、なぜその方法で作図ができるのかを考えさせることで、図形の特徴を確実に定着させるようにする。

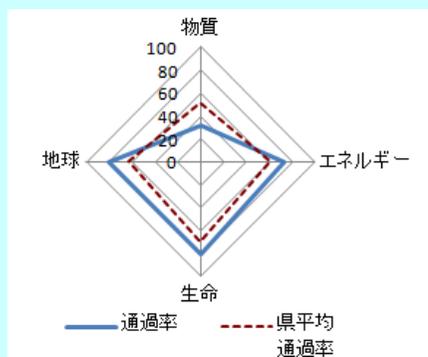
【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			4年生 復習テスト	全学年 学年末テスト	3年生「表とグラフ」 単元末テスト	4年生 H29「基礎・基本」	全学年 学年末テスト
目標値			平均通過率 75%以上	平均通過率 75%以上	平均通過率 75%以上	平均通過率 75%以上	平均通過率 75%以上
実施後数値			75%	79.3%			

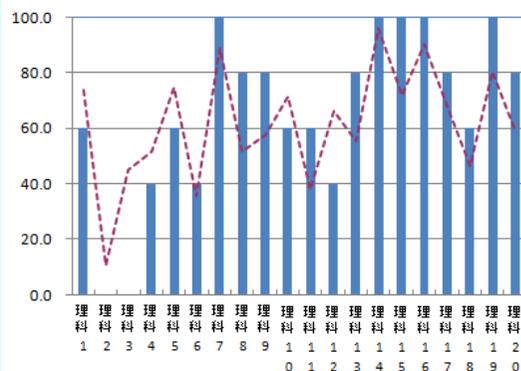
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			4年生 復習テスト (自校作成)	全学年 学年末テスト	全学年 標準学力調査	4年生 H29「基礎・基本」	全学年 学年末テスト
目標値			平均通過率 75%以上	平均通過率 75%以上	全国平均以上	平均通過率 75%以上	平均通過率 75%以上
実施後数値			50%	79.3%			

## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 66.0%, 県 61.7%)

領域別平均通過率



教科別の平均通過率



## 本年度の結果について

○全体的な傾向について

理科の結果において、タイプⅠは81.8%、タイプⅡは46.7%の通過率となっている。この結果から、「地球」の領域については、ほぼ定着が図られていると考えられるが、物質の領域においてタイプⅡの通過率が低いという課題が見られる。特に、空気と水の性質や物のあたたまり方についての理解が不十分であり、課題が見られる。

○昨年度は、「太陽の動きやかげのできかた」において、太陽の動きや影のでき方の理由を方位や決まりを使い、順序立てて書く力が不十分であった。そこで、視聴覚機器の活用をし、理科の用語を使って説明させた上でノートに絵や図を加えて整理させることに取り組んだ。その結果、通過率が30%から70%に上昇した。

## 重点課題

### 【課題1】

空気の性質を正しく理解できていなかったり問題の読み取りが不十分であったり、実験方法を考える力が不十分であることなどから、空気でっぽうの前玉が跳ぶ理由を検証する実験道具を選択することができていない。(通過率0%)

### 【課題2】

水や空気の温まり方を正しく理解できていないため、予想を立てる際に適用できる知識を根拠としてあげることが課題である。(通過率0%)

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

### 【課題1】

実験の後の考察や単元の終わりなどに、身に付けた知識を基に問題を考えたり、問題を解いたりする。授業の中で、何を聞かれていて、何を求める問題なのかを児童に見つけさせる。自分の予想を検証するための方法を自ら考え、問題解決方法の流れで学習を進めるとともに、立証する学習活動を行う。

### 【課題2】

4年生「もののあたたまりかた」の学習で、既習事項や体験を根拠に自分で予想して実験を行うようにする。実験後は、実験結果から分かったことや気付いたことなどを振り返らせ、それを交流させていくようにする。単元の終わりには、学習のまとめを理科用語を用いて記述させたり発表し合ったりする学習を取り入れる。

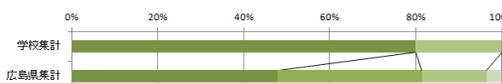
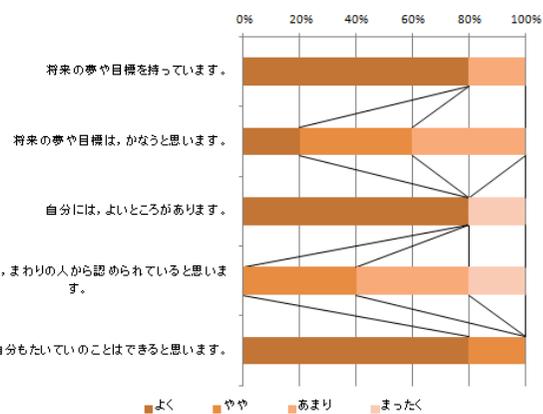
【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		4年生「空気と水の性質」単元末テスト	5年生 復習テスト (自校作成)		全学年 標準学力調査	4年生 H29「基礎・基本」	4年生 復習テスト (自校作成)
目標値		平均通過率 75%以上	平均通過率 80%以上		全国平均以上	平均通過率 75%以上	平均通過率 75%以上
実施後数値		100%	80%				

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法					4年生「もののあたたまりかた」単元末テスト	4年生 H29「基礎・基本」	5年生 復習テスト (自校作成)
目標値					平均通過率 75%以上	平均通過率 75%以上	平均通過率 80%以上
実施後数値							

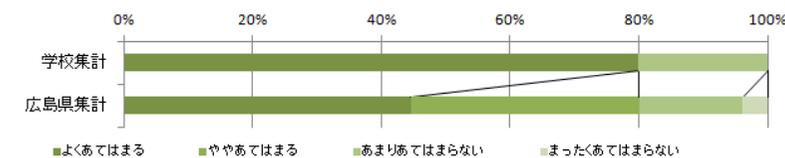
質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査）

(1) 生活・学習

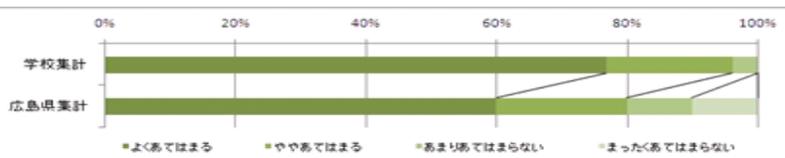
自己実現力・自己効力感



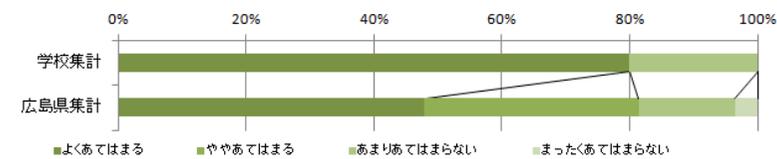
国語の授業では、場面の様子や移り変わり、人物の気持ちを表現している言葉や分に注意しながら、物語などの文章を読んでいます。



算数の授業では、とき方や考え方を絵や図などに表して考えています。



理科の授業では、観察や実験を行うときは、その目的は何かを意識しています。



児童の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
自分の良さは周りの人から認められているといった自己実現・自己効力感の項目で、課題があった。（当てはまらないと回答した児童の割合が60%）	日常生活の様々な場面において一人一人の良さを評価する場面を作る。 また、学級活動において、自分の個性について学級の友達にインタビューを行い、友達から見た自分について客観的に捉えさせる。	5	肯定的評価 80%	児童アンケート	12月  2月	60%	なし

	児童の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	場面の様子や移り変わり、人物の気持ちを表現している言葉や文に注意しながら、物語などの文章を読んでいるかという設問に対して課題があった。（当てはまらないと回答した児童の割合が20%）	場面の様子や人物の気持ちを読み取らせるため、線を引ながら読ませたり、場面分けをさせたりする。肯定的評価を行ったり、お互いに出来たことを評価し合わせたりする。	5	肯定的評価 100%	児童アンケート	12月	100%	20%
算数	とき方や考え方を絵や図などに表して考えているかという設問に対して課題があった。（当てはまらないと回答した児童の割合が40%）	とき方や考え方を絵や図などに表して考えてさせることを継続するとともに、肯定的評価を行ったり、お互いに出来たことを評価し合わせたりする。	5	肯定的評価 80%	児童アンケート	12月	100%	40%
理科	観察や実験を行うときは、その目的は何かを意識しているかという設問に対して課題があった。（やや当てはまらないと回答した児童の割合が20%）	観察や実験の目的が何かを考えさせたり、観察や実験の仕方を考えさせたりする。児童の考えた方法で観察や実験なども行い、分かったことをまとめさせる学習を継続する。	5	肯定的評価 100%	児童アンケート	12月	100%	20%